学年通信

Challenge

～迷ったらやってみよう!～



龍ヶ崎市立
城西中学校
第2学年通信
文責：
第 13号

大成功！ 西龍祭（1組）

生徒が楽しみにしている学校行事の1つである西龍祭が行われました。当日に向けて、9月の中旬から練習を重ね、各団の勝利に向けて練習に取り組んでいました。昨年度と違い、今年度は昨年の経験を生かした取り組みが求められます。また、初めて西龍祭を経験する1年生のサポートも大切です。この行事を通して生徒達は様々なことを学ぶことができました。西龍祭の後、生徒達は振り返りを行いました。

「キズナの情熱団」

西龍祭を振り返ると、練習ではなかなかできなかった大縄も女子男子共にベストを更新することができ、混合でも縄を回し始めてから50回以上みんなで息を合わせて跳び続けることができました。学年リレーでは、走者をみんなで応援し、「ファイト!」「あと少し!」「ナイス!」といった、前向きな声かけができました。他にも種目を終えた選手に「お疲れ～!」「惜しかった」「がんばったね!」と励ます様子があり、団全員が協力して2位を勝ち取ることができました。来年は3年生として、ダンスや練習をより真剣に行い、後輩に教えられるようになりたいです。今の先輩たちが自分たちにしてくれたことを次につなぎ、来年こそ1位を取りたいです。でも、楽しむことも忘れず、他の団の事も考えつつ、全団にとって「楽しかった!」と思えるような西龍祭にしたいです。結果も大切だけれど、過程と終わったときの気持ちと相手を想う気持ちも重視したいです。

「心に残った西龍祭」

新しく1年生が加わり、自分たちが2年生になった新チームで、こんなにも全力で一生懸命に取り組めたことがすごく嬉しかったです。団リーダーが私達を引っ張って夏休みのころからたくさん考えて用意してくれたステージを悔しい形で終わらせてしまって申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。練習し始めた時、ダンスや声出しがなかなか全力で取り組めていませんでした。しかし、先輩方や団リーダーの姿を見て、私達は1年生を引っ張らなければならない立場だと実感し、積極的に声をかけてあげることを心がけました。しかし、本番当日に1番悔しい結果を残してしまい、1年生にもっと速く走るコツやポジティブな気持ちの持ち方を教えてあげればよかったと思いました。そしてなにより、四連覇を目前にし、最後となった3年生に優勝させてあげられなかったことが悔しかったです。しかし、解団式の時の先輩方や先生の声を聞いて、次に繋ぐことと、これまでの頑張りを称えてあげることが大切だと感じました。泣いていた3年生の顔を来年笑顔にできるように、チーム全員全力を尽くして頑張りたいです。光輝団が今年とは比べ物にならない力で来年優勝を勝ち取れるように取り組みます。

「勇気を出した西龍祭」

私は今年初めて団リーダーとして西龍祭に臨みました。練習が始まったとき、特に縦割種目や学年リレーはチームの息が合わず、練習が思うように進みませんでした。しかし、毎日練習を積み重ねてだんだん励ましの声かけが団リーダーを中心に大きくなっていきました。私も苦手だけれど声を出していくと、みんなと同じ輪に入れた気持ちになり、1年生と3年生との交流が増えていきました。本番では、不安だった縦割種目（大縄）では、男子、女子、混合の全てで自己ベスト記録が出て1位を取ることができました。そのあとのリレーもまさかのダントツで1位を走りきることができました。総合結果では僅差で2位に終わってしまったけれど、去年よりみんなのことを見ながら、声が枯れるくらいの応援を届けたり、先導したりすることができて、勇気を出して団リーダーに立候補してよかったと思いました。来年は3年生の思いも背負って絶対に総合優勝も応援優勝も取ります!

学年通信

Challenge

～迷ったらやってみよう!～



龍ヶ崎市立
城西中学校
第2学年通信
文責：
第 14号

大成功！ 西龍祭（2組）

生徒が楽しみにしている学校行事の1つである西龍祭が行われました。当日に向けて、9月の中旬から練習を重ね、各団の勝利に向けて練習に取り組んでいました。昨年度と違い、今年度は昨年の経験を生かした取り組みが求められます。また、初めて西龍祭を経験する1年生のサポートも大切です。この行事を通して生徒達は様々なことを学ぶことができました。西龍祭の後、生徒達は振り返りを行いました。

「西龍祭を終えて」

西龍祭の練習が始まったとき、昨年は光輝団に負けてしまったけれど、今年こそは絶対に優勝したいと思いました。練習では全員でうまくいくやり方の動画を見たり、自分達の練習を撮影したりして、団の全員の本気さが伝わってきました。最初のうちは全員がばらばらになっていたけれど、団リーダーの声かけのもと、一丸となって競技に臨むことができました。西龍祭の当日では、練習をはるかに越える結果が出て、総合優勝を勝ち取ることができました。今年学んだ協力することの大切さを胸に来年もがんばっていきたいです。

「西龍祭　情熱団」

今年も総合優勝を取ることはできなかった。しかし、去年の3位に比べれば、今年の2位は去年より良い結果なのは明らかである。団リーダー、団のみんな、そして団長、それら全ての人達が本気で戦いに挑戦したからこそ取れた「2位」であった。もちろん「1位」を取れず悔しい気持ちもあるが、最後まで全力で戦うことができて嬉しい気持ちもある。僕の反省点は、団リーダーとしてもっと声かけや行動をすればよかったと思いました。また、単純にもっと足が速ければよかったと思いました。3年生は引退してしまうけれど、先輩方の意志や、1、2年生に託してくれた「情熱団」を来年こそは総合優勝に導きたいと思います。

「悔しく終わった西龍祭」

応援優勝も総合優勝も1位を飛翔団に取られてしまって悲しいけれど、今までみんなが一生懸命に努力してきたことは変わらないので、来年に生かしていこうと思う。団リーダー達は曲を決めたり、振付を考えたりして、みんなをまとめていて、本当にすごいなと思った。係活動では、それぞれの仕事をしっかり行うことができた。増員増脚では、何回か転びながら一生懸命練習していたからこそ1位を取れずに終わってしまい、悔しい気持ちがある。けれど、友達と協力しながら作戦を立てて、本番では今までで1番速く走ることができた。応援合戦では、練習では負けてしまったけれど、一生懸命な気持ちは負けていないと思った。この悔しい気持ちを胸に、来年は絶対に優勝したいと思った。

学年通信

Challenge

～迷ったらやってみよう!～



龍ヶ崎市立
城西中学校
第2学年通信
文責：
第 15 号



大成功！ 西龍祭（3組）



生徒が楽しみにしている学校行事の1つである西龍祭が行われました。当日に向けて、9月の中旬から練習を重ね、各団の勝利に向けて練習に取り組んでいました。昨年度と違い、今年度は昨年の経験を生かした取り組みが求められます。また、初めて西龍祭を経験する1年生のサポートも大切です。この行事を通して生徒達は様々なことを学ぶことができました。西龍祭の後、生徒達は振り返りを行いました。

「ダブル優勝!」

今年で中学2年生になった私は、初めて西龍祭で総合優勝しました。また、総合優勝だけでなく、去年から2連続で応援優勝もすることができました。本当にうれしい気持ちでいっぱいです。今回このような結果を出せたのは、1，2，3年生の団結力はもちろん、団のみんなを励まし、時には厳しく、誰よりも西龍祭に熱い思いを抱いていた3年の団リーダーのおかげだと思います。正直、最初の方は団リーダーの指示をうるさく感じてしまうことがありました。しかし、今回ダブル優勝という結果が出て、今までの厳しさは絶対に勝ちたい!そして勝たせたい!という熱い思いによるものだったんだなと気付けました。今回は1年生にとっては、初めての西龍祭で初優勝、3年生にとっては最後の最後に初優勝という、とても心に残るような西龍祭にできたと思います。来年はいよいよ最後の西龍祭になるので、今年の経験を生かして来年の西龍祭にい挑めたらいいなと思います。

「最高の体育祭」

僕が体育祭で思ったことは3つあります。1つ目は、3年生のみなさんを見て、とても素晴らしいと思ったことです。3年生のみなさんは、はきはきしていて、僕達全体の事を見てくださり、お手本になる先輩達でした。来年僕達は、今の3年生のようになりたいです。2つ目は「玉入れ」のことです。最初は玉が全然入らず、「大丈夫かな」と思っていましたが、みなさんと協力して、投げ方やタイミングを考え、無事に1位を取ることができました。とても嬉しかったです。3つ目は総合優勝したことです。途中で情熱団に抜かされそうになって焦りましたが、頑張った応援のおかげで総合優勝と応援優勝ができて、とても嬉しかったです。団リーダーの指示もあり、「今まで一生懸命練習してよかった」と思いました。来年はベストを尽くせるように頑張りたいです。

「先輩がいる体育祭」

中学2年生の2回目の体育祭。先輩がいる最後の体育祭でした。今年も昨年度と同じ2人3脚に参加しました。一緒に走った友達も去年と同じ友達でした。練習していて目に入ったのは、5人6脚の3年生の先輩方でした。女子の先輩も男子の先輩もどれだけ転んでも楽しそうに笑って励まし合い、本番でもとてもかっこいい姿を見せてくれました。増員増脚の先輩方だけでなく、団長や団リーダー、副団長の先輩も、とてもカッコよく、優しい先輩方でした。昨年の3年生も、中身も見た目も1年生や2年生とまったく異なる姿に見えました。来年3年生になる私も、あんな風にできたらいいなと思いました。